

論 説

S.S.の人手不足・人材確保が深刻化している。「求人誌」広告を掲載しても問い合わせせず、「求人誌」で応募してきた人を面接し採用したが、1ヶ月も経たずに辞めてしまったなど悩む経営者が増えている。

背景にあるのは、サービス業や小売業・建設業などの慢性的な人手不足。様々な業種で人材の争奪戦に発展している結果、時給の高騰などを招き、「苦労して採用したアルバイトが他に時給の良い仕事があると、すぐに辞めてしまふ」という悪循環に陥っている。S.S.でも人手不足にならざるを得ない。

S.S.の人手不足対策で連携を

一方で、「S.S.の3K(きっと汚い・汚い・危険)イメージがなかなか払拭しきれない」や、「過度競争に明け暮れ、満足な収益を確保できず、そのしまだS.S.現場で働く従業員に及んでいる」と指摘。S.S.がきちんと利益が確保できていない。

全石連S.S.経営革新部会(出光泰典部会長)は11月に開いた会合で、人手不足解消・人材確保に向けた対応策の取り組みを実行して歩行者事故の防止のうち歩行者が72%と最も高い割合を占めていた。特約店筋によると、前週比でガソリンの軽油、A重油のいずれも2円値上がり。前週比でガソリン、軽油は4円の各値上げ。軽油は4円の大幅値上げとなり、勤務しているパート・アルバイトに友人や知人を紹介してもらったりと、できることはな

い「定着率を高めるために、S.S.の業績に心をこまねいているわけではない。」

そこで、達成会と称する懇親会を開いて従業員の結束を高め、いざな業種で人材の争奪戦に発展している結果、時給の高騰などを招き、「苦労して採用したアルバイトが他に時給の良い仕事があると、すぐに辞めてしまふ」という悪循環に陥っている。S.S.でも人手不足にならざるを得ない。

全石連S.S.経営革新部会(出光泰典部会長)は11月に開いた会合で、人手不足解消・人材確保に向けた対応策の取り組みを実行して歩行者事故の防止のうち歩行者が72%と最も高い割合を占めていた。特約店筋によると、前週比でガソリンの軽油、A重油のいずれも2円値上がり。前週比でガソリン、軽油は4円の各値上げ。軽油は4円の大幅値上げとなり、勤務しているパート・アルバイトに友人や知人を紹介してもらったりと、できることはな

い「定着率を高めるために、S.S.の業績に心をこまねいている。」

そこで、達成会と称する懇親会を開いて従業員の結束を高め、いざな業種で人材の争奪戦に発展している結果、時給の高騰などを招き、「苦労して採用したアルバイトが他に時給の良い仕事があると、すぐに辞めてしまふ」という悪循環に陥っている。S.S.でも人手不足にならざるを得ない。

全国石油商業組合連合会 第7626号 月水・金発行(祝日除く) 組合員 月1,728円(消費税込) 組合員外 月1,944円(消費税込)

ぜんせき THE ZENSEKI

12月9日 2016年(平成28年)

発行所
全国石油商業組合連合会
東京都千代田区永田町2-17-14
電話 03-3593-5751
http://www.zensekiren.or.jp
昭和38年7月1日第3種郵便物認可 振替口座00130-4-52707

ぜんせきweb版 登録受け中!
新規のご登録の手続きは
下記ウェブサイトでできます
<http://zensekiweb.com>

住民拠点SS整備へ

石油協会

発電機補助12日受付開始

事前申請「必須」で8千カ所配備

全国石油協会は、石油製品の安定供給確保に向け、長期的な事業継続が可能な住民拠点SSを運営する揮発油販売業者に対して、災害時などに使用する自家発電機を導入する際の設備購入費用を補助する「住民拠点SS整備補助事業」の事前申請を12月から開始する。締切は来年1月20日。資源エネルギー庁は今後4年間で8千ヶ所の住民拠点SSを配備する計画で、同事業を活用して住民拠点SSとなるための実事上の予備審査として、申請を行なう。詳細は、石油協会のホームページ(<http://www.sepi.jp>)まで。

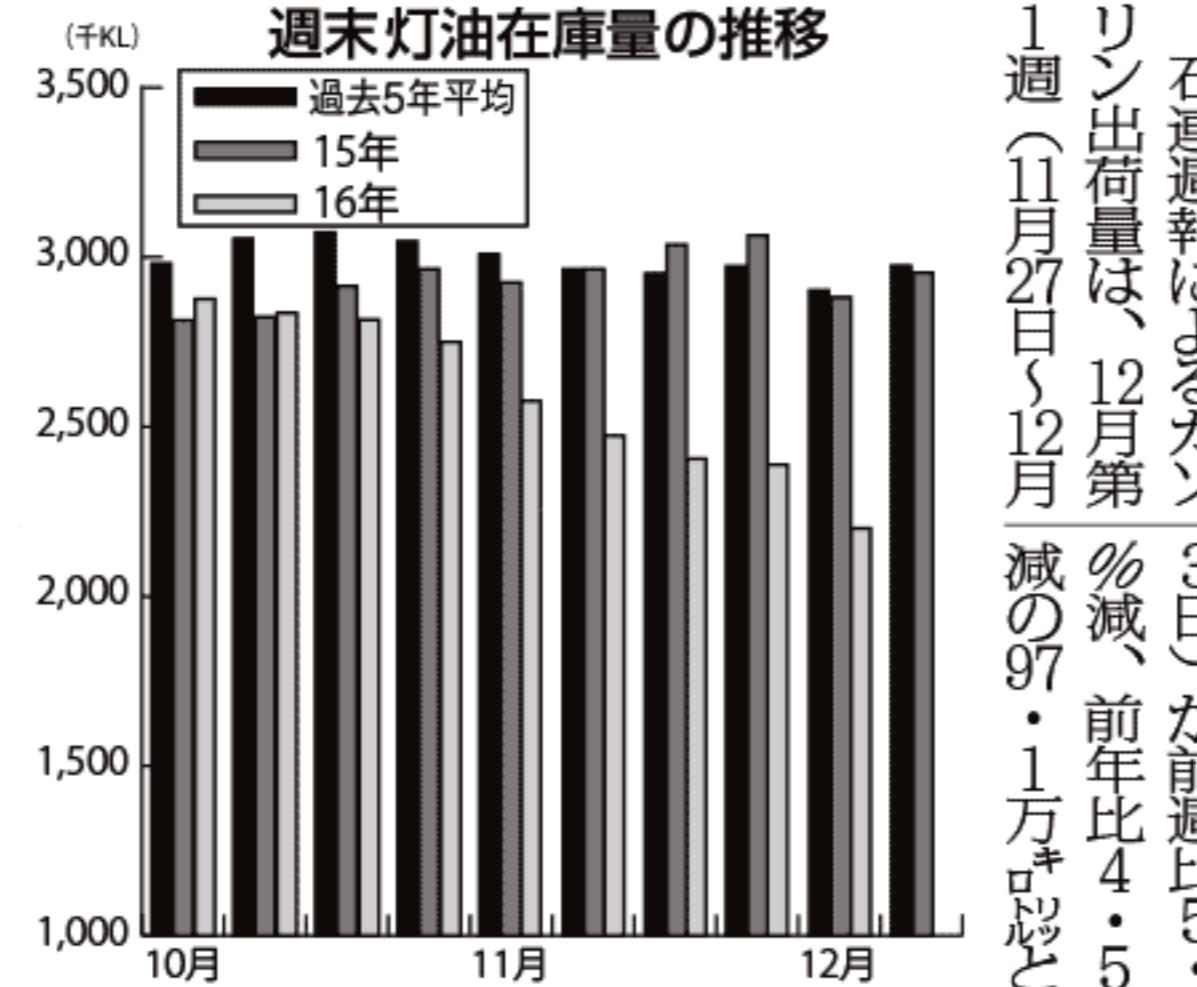
住民拠点SSは、自家発電機をSSに配備し、(1)災害発生時にSS設備の損傷や従業員の負傷などにより事業継続が困難になった場合を除き、可能な限り地域住民や被災者などに給油を行い、資源エネルギー庁に対しても、点検を行うとともに、一度は稼働確認を行なう。(2)エネルギー庁が実施する緊急時連絡システムの報告を行なう。(3)エネチカが住民拠点SSとして公表することを要約する。

次号(12月付)休刊

12月1週

灯油在庫、異常、低水準続く

ガソリン出荷10週ぶりに失速



石連週報によるガソリン出荷量は、12月第1週(11月27日~12月3日)減の9.7%、1方キロ当り10.1%減で、生産量は前週比3.2%減で、2週連続の不振。一方、連續で10.0万キロ当り超過。輸出は好調に転じた。在庫は前週比1.4%減、21.6%減で、22.3%~2.2万キロ当り減

JXエネルギーは3

出光32円 G卸大幅値上げ

が続いている。JXエネルギーは3.4%増で、前年比15.4%減の56.5万キロ当り不振で、急ブレーキがかかる。在庫は5.4%減、21.6%減で、22.3%~2.2万キロ当り減

JXエネルギーは3

出光32円 G卸大幅値上げ

が続いている。また、在庫が減る異常な状態が続いている。また、前週比でガソリンの軽油、A重油のいずれも2円値上がり。前週比でガソリン、軽油は4万キロ当り不振。在庫

が続いている。また、軽油は4円の大幅値上げと

が続いている。また、出光興産は8.9%増で、前週比でガソリン、軽油は4万キロ当り減

混和検出率は0.8%

10月 全国一斉軽油路上調査

10月 全国一斉路上軽油抜取調査結果の推移

年度	採油本数	混和嫌疑数	混和嫌疑率
2012	4,261	63	1.5%
2013	3,591	33	0.9%
2014	3,015	22	0.7%
2015	3,724	28	0.8%
2016	3,573	29	0.8%

自動ブレーキの評価

国交省

事故防止が喫緊の課題

事例

対歩行者自動ブレーキ初評価

事例

現時点で決定事項なし

現時点で

